

経営比較分析表（令和3年度決算）

山梨県北杜市 塩川病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	15	-	ド透訓	救へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
46,378	12,228	第2種該当	第2種該当	10:1

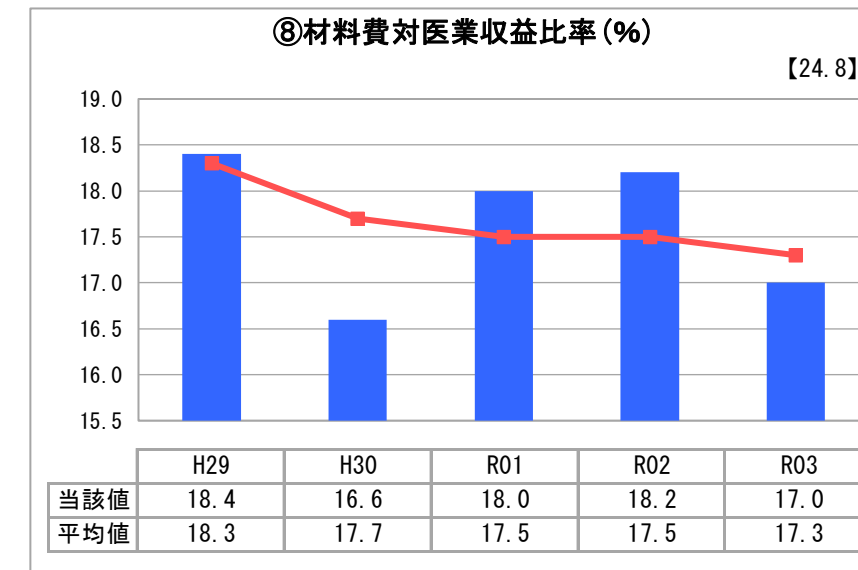
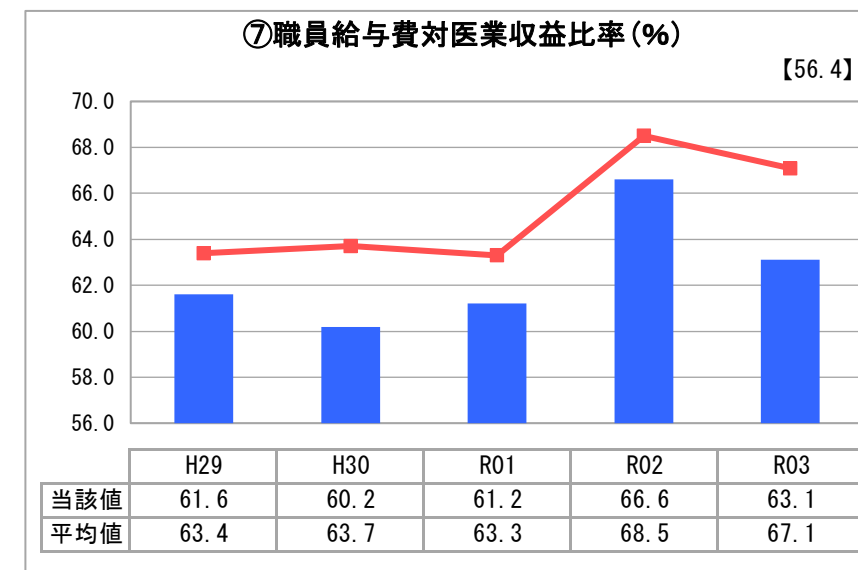
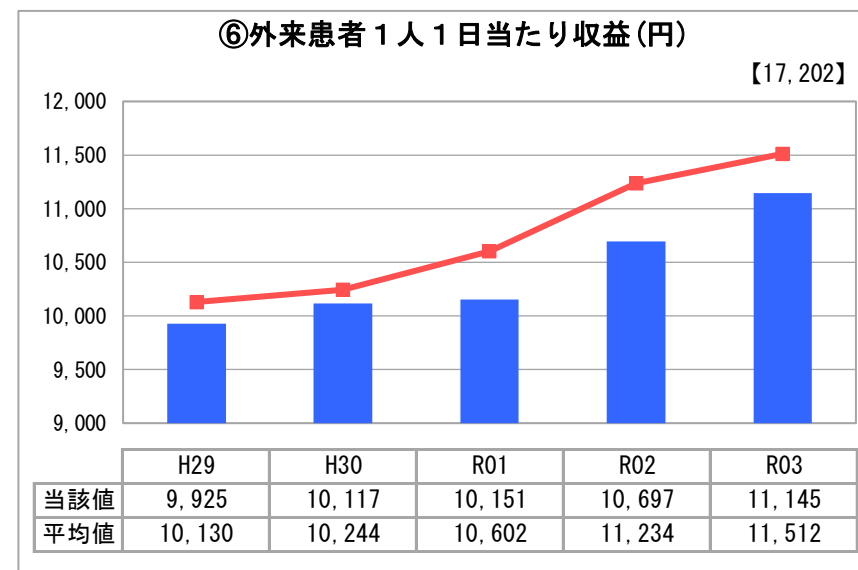
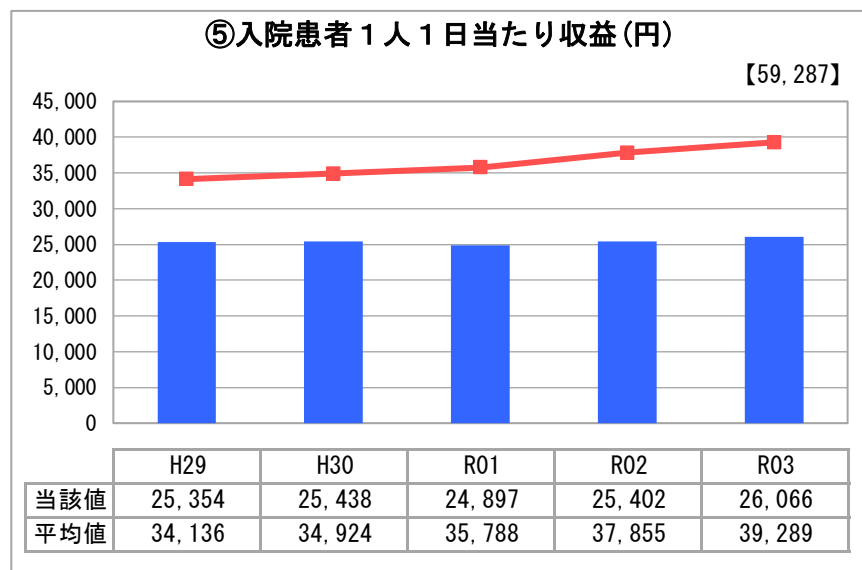
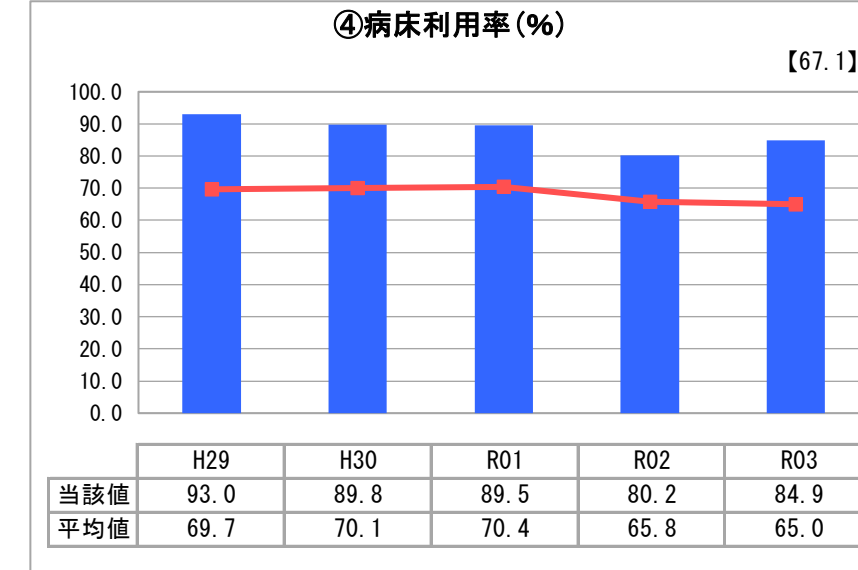
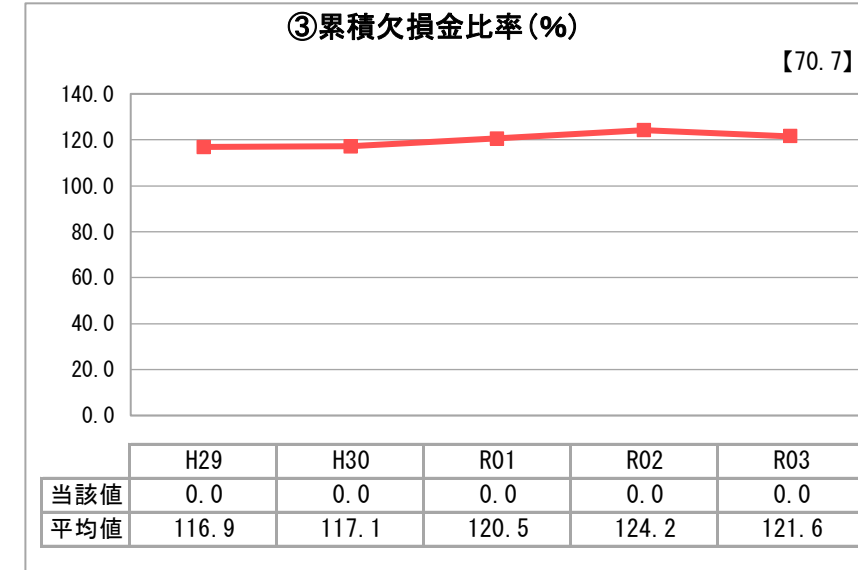
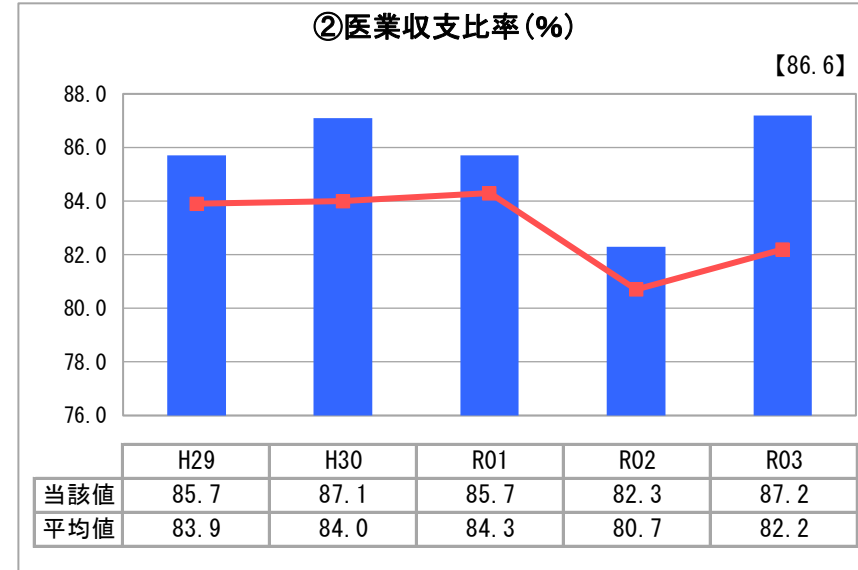
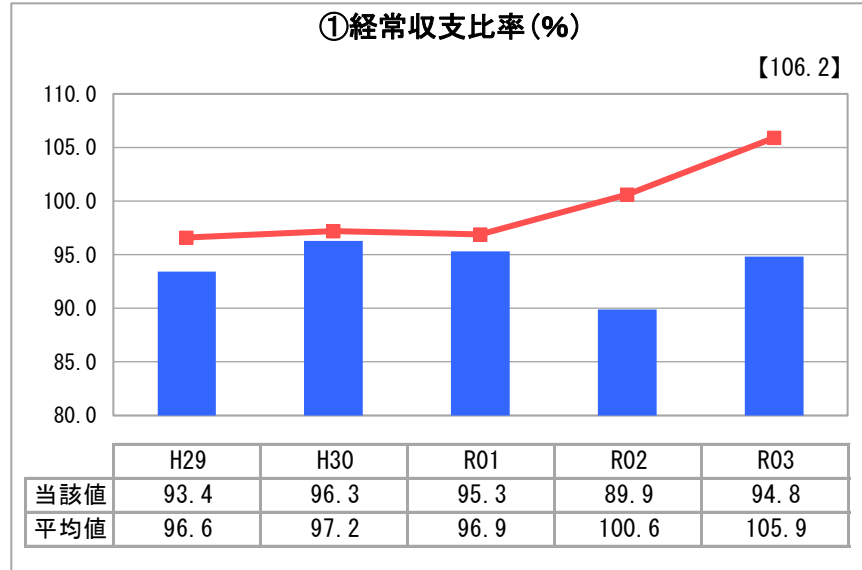
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

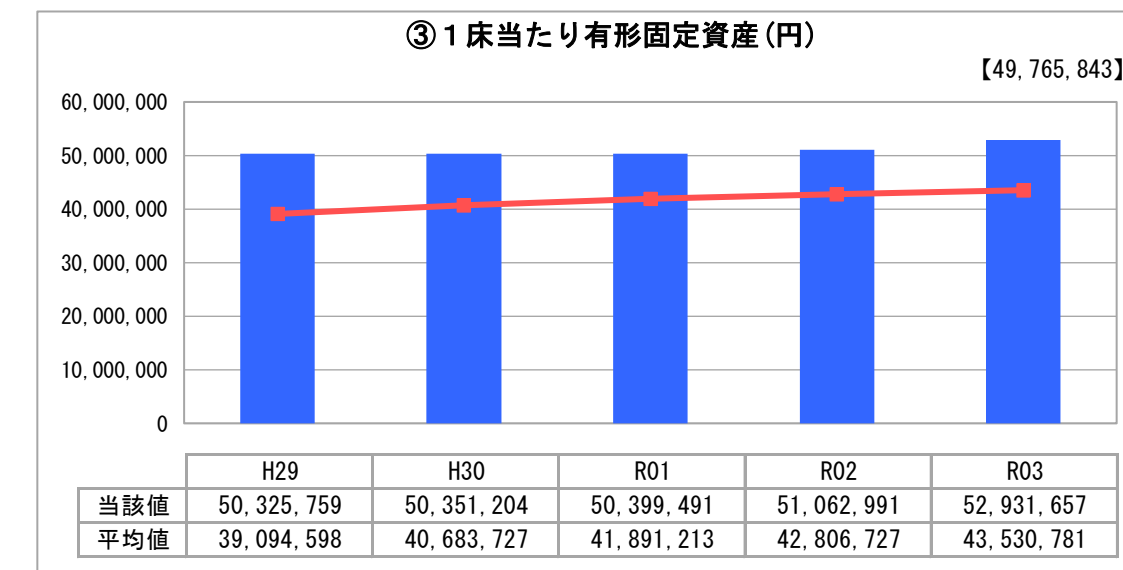
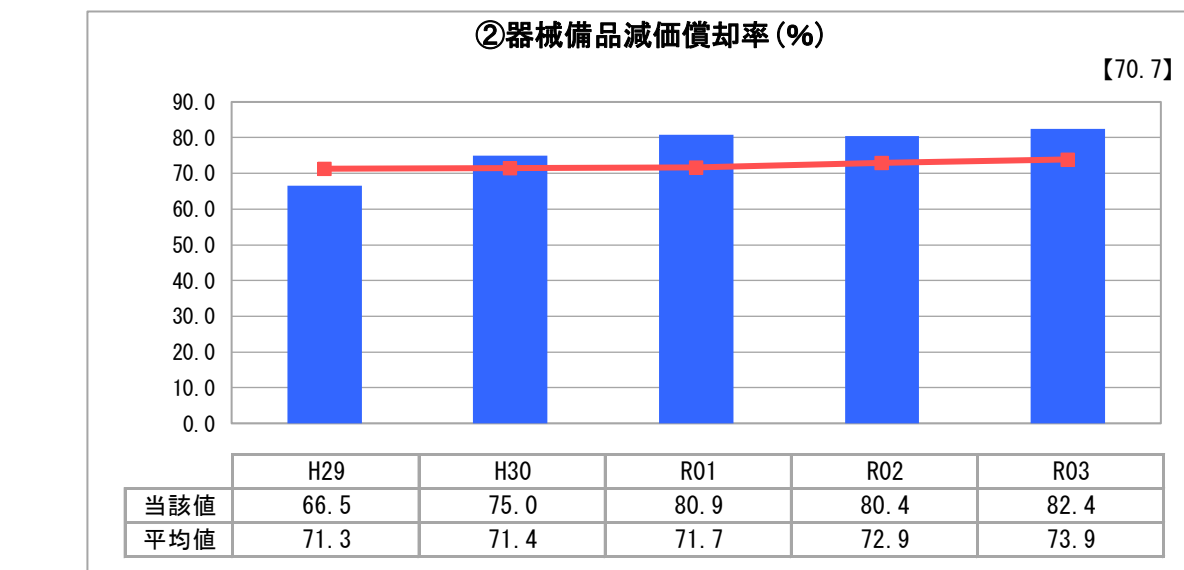
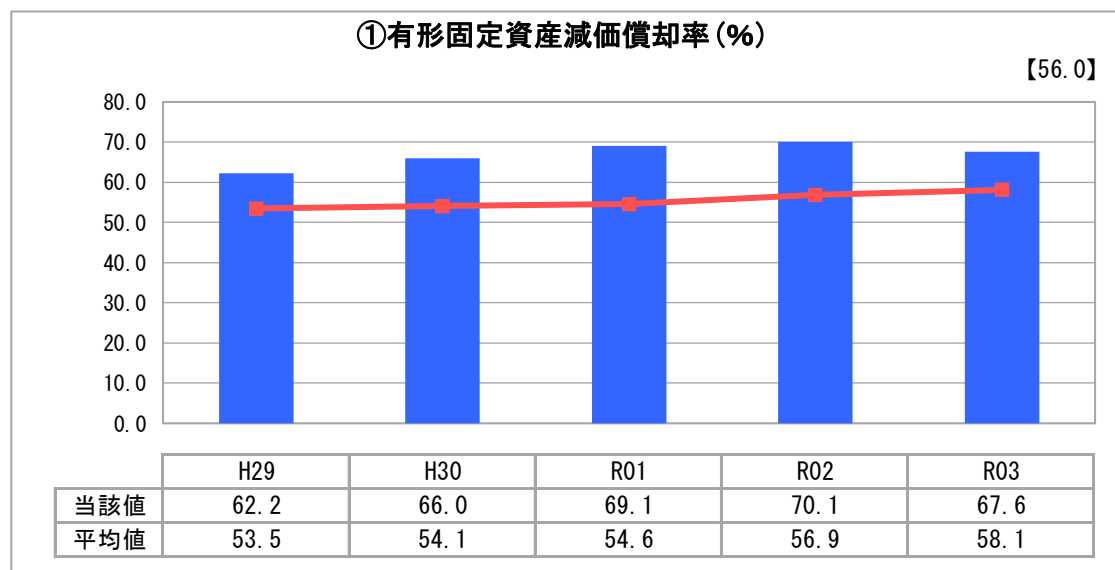
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
54	54	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	108
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
53	50	103

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、救急告示病院として、地域の急性期医療の一端を担い、また、療養病床を有し、併設老健・訪問看護ステーションと協働し、慢性期医療及び在宅復帰支援を行っている。へき地医療拠点病院の指定も受けており、急性期から慢性期、在宅復帰支援、へき地への医療提供と、ケアミックスの病院として、幅広い役割を地域において担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当院の医業収支比率、病床稼働率は全国平均に比べ良好な状態にあるが、新型コロナウイルス感染症による経営への影響は大きく各指標ともに悪化の傾向を示していた。感染症と共存した医療提供体制が確立しつつあり、各指標とも復調傾向にある。また、他公立病院に比べコロナ関連補助が少ないため全国平均に比べ経常収支比率は、低値となっているが、現状では累積欠損金が生じていないため経営の健全性は保たれている。しかしながら、累積黒字が縮減されているためアフターコロナを見据えた医療提供体制の確立を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

減価償却率が全国平均に比べ高い値を示しており、有形固定資産の老朽化が進んでいる状況である。資産個別に考えると建物については、平成16年度に新館建設・本館改修事業を行っており、当面の間建て替えの予定はないが、経過年数から考えると高寿命化を図るため随時大規模補修を行っていく必要がある。また、設備・医療機器等については、老朽化及び医療機器の進歩による陳腐化等を考慮し更新を行っていく。ただし、減価償却費及び資産減耗費が経常収支比率に及ぼす影響とキャッシュフローの状況を総合的に判断し、健全な経営が維持できるよう、計画的に更新を行っている。

全体総括

当院は、過去良好な経営を行ってきたことで累積欠損金がなく良好なキャッシュフローが保っていたが、新型コロナウイルス感染症という未曾有の災害による経営へのダメージは大きく企業体力を奪うこととなった。しかしながら、その難局の中でも市内に2つの公立病院があるというメリットを生かしつつコロナウイルスとの共存による医療提供体制を確立することで企業体力を回復しつつある。さらに、難局の中でも計画的な設備投資を継続したことでコロナ後の平時の医療を提供し地域における役割を果たすべき下地の形成は行えていると考えられる。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。